

令和7年度(2025年度)第2回博物館協議会会議録

開催日時	令和8年3月25日(水) 10:00~11:10
開催場所	市立函館博物館集会室
議 題	1 正副委員長の選出について 2 令和7年度(2025年度)博物館事業報告について 3 令和8年度(2026年度)博物館事業計画について 4 その他
出席者	博物館協議会 出席委員 10名 (欠席委員) 1名 事務局(函館市教育委員会) 6名
傍聴者等	報道関係者 1名

令和7年度第2回博物館協議会 会議録

1 日 時 令和8年3月25日(水)10:00~11:10

2 場 所 市立函館博物館集会室

3 内 容

- (1)正副委員長の選出について
- (2)令和7年度(2025年度)博物館事業報告について
- (3)令和8年度(2026年度)博物館事業計画について
- (4)その他

4 出席委員 10名 川嶋委員, 柳澤委員, 葛西委員, 風間委員, 山崎委員,
佐々木委員, 山内委員, 岡崎委員, 銭谷委員, 木下委員

5 欠席委員 1名 若山委員

6 事務局 6名 土生生涯学習部長, 宮田生涯学習部次長, 黒田博物館長,
熊谷主査, 福田主査, 大矢主査

7 発言要旨

司 会 開会および出席状況の報告

土生部長 開会にあたってのあいさつ

【正副委員長の選任】

黒田館長 正副委員長は、市立函館博物館規則により互選となっているが、立候補される方はいますか。
発言がないので、事務局から推薦させていただく方法でいかがでしょうか。

(異議なしの声)

黒田館長 ご意見がないようなので、委員長には前回に引き続き若山委員、副委員長は佐々木委員にお願い
したいと考えていますがいかがでしょうか。

(異議なしの声)

黒田館長 ご異議がないようなので、委員長は若山委員、副委員長は佐々木委員に決定します。
(若山委員には内諾済みである旨説明)
これからの議事進行は、佐々木副委員長お願いします。

佐々木 本来なら若山会長が議長ですが、欠席のため、代わりに議事を進めていきます。
副委員長 配布資料に基づき議事を進めていきます。
最初に、令和7年度事業報告について事務局お願いします。

【令和7年度(2025年度)事業報告について】

黒田館長 令和7年度事業報告について説明

佐々木 委員の皆さんから意見はありますか
副委員長

岡崎委員 イチャルパに関連して、以前、アイヌの遺骨返還をホームページで受付していたが、すでに終了したということではないか。

黒田館長 令和6年度に地元への返還、ウポイへの集約は終了しています。

佐々木 他になれば、次の令和8年度事業計画に進みます。
副委員長 事務局の説明をお願いします。

【令和8年度(2026年度)事業計画について】

黒田館長 ・令和8年度展覧会開催計画について説明

大矢主査 ・ヘレン・ケラーが「みた」昭和十二年函館一触れてみる、触れて聞くについて補足説明

佐々木 委員の皆さんから意見や聞きたいことはありますか。
副委員長

岡崎委員 ジュニア天文教室の会場が共愛会本部になっているのはなぜか。

黒田館長 はこだて天文宇宙クラブに同会の関係者がおり、今回の講座は会場利用の協力をいただいたものです。

佐々木 他に意見がないようですので、イノベートミュージアム事業の説明をお願いします。
副委員長

【その他 イノベート・ミュージアム事業について】

川嶋委員 (プロジェクターを使用して説明)
昨年(2025)の第1回協議会でも説明したが、事業期間が終了したので活動結果について説明します。
この事業は文化庁の補助事業で、今回申請した地域課題対応支援事業では全国で16件が採択されています。
私たちのプロジェクトでは、市民を中心に昨年(2025)の7月から今年(2026)の2月まで3つのパートに分けて活動してきました。
まずパート1では、今日、博物館に入ってくるときに、暖簾を見たと思うが、これも職人さんや大学生が中心となり考え、作成したものです。
このほか、日本刀の重さを感じることができる展示を夏から行う予定であるほか、博物館の展示で人気が高い戦友姿絵から抜粋し、アクリルスタンド、マスキングテープ、ヘアゴムなど、思い出を持って帰ることができるもののサンプルを作成しました。
パート2では、函館の歴史を映像で残すために、インタビュー動画を撮影し、もと博物館長の田原さんや協議会の佐々木副会長にも登場していただいています。
パート3では、資料のデジタル化を中心に活動し、古文書のほか明治11～22年までの函館新聞全刷、蝦夷島奇観を市民が参加して撮影しました。
デジタル化した蝦夷島奇観のほか土偶のレプリカを作成したが、大学生や高校生は楽しそうに取り組んでいたほか、補助期間終了後ではあるが、外部展示や道南縄文プロジェクトでの土偶レプリカへの着色体験も実施しました。
また、函館大火の記憶などを記録として残すため、函館大火慰霊祭にも参加しています。

佐々木 素晴らしい取り組みだ。
副委員長

木下委員 大変興味深い。
学生が楽しそうにプロジェクトに参加しており、賛同したい。

風間委員	北海道新聞の記事を見て。頑張っているなと思った。 来館者にとって手元に置けるものがあることは大事だと思う。 アクリルスタンド、ヘアゴムなど賛同できる。
山内委員	函館新聞すべてをデータ化したとのことだが、図書館のアーカイブで公開するのか。
川嶋委員	今回撮影した函館新聞は図書館とは無関係なので、博物館のホームページで公開できればと考えている。
銭谷委員	予算について、光熱水費はこれくらいの増額で足りるのか。 入館者増が収入増につながればいいと思う。 博物館に来なければ手に入らないものがあれば入館者が増えるのではないか。
黒田館長	光熱水費については、博物館の予算の中でやりくりしていかざるを得ない。 アクリルスタンドなどは、グッズ化できないか博物館友の会とも協議していく。
佐々木 副委員長	他に意見がなければこれで終了する。
司会	閉会